

グループ名 ・代表者名	泊原発の廃炉をめざす会 共同代表 小野有五・清水晶子・宮内泰介	助成金額	80万円
連絡先など	060-0808 札幌市北区北8西6-2-23-806 泊原発の廃炉をめざす会		
助成のテーマ	泊原発の廃炉を実現させるための研究		

## 【調査研究・研修の概要】

## ・問題の背景

泊原発は、北海道の西部、積丹半島にある原発です。3号機は日本の原発では最も新しいため、危険が少ないとして、再稼働される可能性が高い原子炉です。しかし日本海側は、太平洋側と異なり、1980年代になって初めてプレート境界があることがわかり、活断層の研究も近年になってやっと進んできた地域です。本研究では、活断層についての既存のデータの集積と新たな研究により、活断層による泊原発の危険性を明らかにすることを目的にしました。またその成果を市民に伝えるために、17回に及ぶ講演会・学習会を全道各地で行いました。その成果として、2011年の第一次訴訟の原告611人を上回る第二次原告を集めることができ、現在、2つあわせて1232名もの大勢の原告と、2000人近い賛同人の支援によって、泊原発の廃炉を求める訴訟を継続中です。

## 【調査研究・研修の経過】

2012年5月：札幌地方裁判所、第二回口頭弁論での意見陳述

6月：研究結果をおりこんだリーフレット作成

8月：奥尻島での津波堆積物調査

9~12月：旭川、蘭越、白老、室蘭などで学習会開催

11月：『泊原発の問題は何か』を出版

第二次原告 612名を獲得

2013年：岩見沢、帯広、釧路、札幌などで学習会開催



## 【今後の展望など】

・研究成果をさらに今後の訴訟に生かすとともに、研究成果をわかりやすく伝える学習会を全道各地で行っていく予定です。

会計報告書の概要 (金額単位：円)			充当した資金の内訳		
支出費目	内 訳	支出金額	高木基金の 助成金を充当	他の助成金 等を充当	自己資金
旅費	奥尻島調査、積丹半島調査、道内各地		412,065	0	0
資料費			0	0	0
機材・備品費	音波探査データ解析用パソコン		101,880	0	0
会議費			1,600	0	0
印刷費	リーフレット印刷、 出版補助		142,455 140,000	0	15,045 700,000
協力者謝礼			0	0	0
外部委託費			0	0	0
その他	研修参加費		2,000	0	0
合 計			800,000	0	715,045

## 参考文献 (ウェブサイトや書籍、成果物など)

- ・泊原発の廃炉をめざす会 (編) 『北海道電力 泊原発の問題は何か』 寿郎社
- ・小野有五 『Active Geography たたかう地理学』 古今書院
- ・泊原発の廃炉をめざす会のウェブサイト：<http://tomari816.com/home/>

# 「なぜ、泊原発は廃炉にすべきなのか？」

——活断層・地震・津波の評価に大きな問題——  
小野有五(泊原発の廃炉をめざす会)



地球上で最も活発な変動帯にある日本列島！  
4つのプレート境界にある浜岡原発は世界で最も危険な原発！！  
1980年代まで、日本海側には、プレート境界がないと考えられていた！





